

今後の進行管理の方法について

1. 現行計画の進行管理の現状と課題について

現行計画では、「第3章 目指す環境の姿の実現に向けて」に記載されている指標と施策の進捗状況を年次報告書としてとりまとめ、審議会で審議してきました。

年次報告書では、「目標値の達成状況」「昨年度と比較した進捗状況」から基本目標の総合評価をA～Cの3段階で示すとともに、事業の実施状況を併せて記述することで、各基本目標の進捗を検証・評価してきました。しかし、この進行管理の方法に対して、審議会から次の課題が指摘されており、対応を検討する必要があります。

- 課題1 現状維持自体が大変な目標値の評価が正しくされていない
- 課題2 目標値ごとに達成の難易度が異なる
- 課題3 先進的な新しい取組に対する評価を組み込んではどうか
- 課題4 時代遅れとなった指標の差替えを検討してはどうか

2. 新たな進行管理の方向性について

上記に挙げた課題に対応するため、今後は次に掲げる3つの方向性に基づいて進行管理を行います。

■方向性1 評価視点を追加（課題1～3の解決策）

現状の年次報告書では、定量的評価^{*1}（目標値の達成状況、昨年度と比較した進捗状況）から基本目標を総合評価してきましたが、今後は定性的評価^{*2}など新たに以下に示す4つの評価視点を盛り込むことで、客観性や総合評価の精度を高めます。

①事業数に関する評価

新たな評価視点として、「施策の方向」や「施策」単位の事業数を整理することで、「施策の方向」や「施策」単位の事業の実施状況を見える化します。

②事業内容に関する評価

新たな評価視点として、施策を実施している市の担当課からみた事業（施策）の評価を行うことで、「施策の方向」や「施策」単位の進捗状況を見える化するとともに、指標に関連する施策以外の進捗状況の把握につなげます。

③市民（審議会）からみた「基本目標」の評価

現状の年次報告書では、市視点の評価しかありませんでしたが、今後の年次報告書では、市が整理した指標や事業（施策）の評価結果を踏まえ、市民（審議会）からみた「基本目標」の評価を盛り込むことで、評価の客観性を高めます。

※1 定量的評価：指標や事業数など測定（計測）可能な数値を用いた評価方法。客観的かつ合理的な評価が行える。

※2 定性的評価：数値では表せない物事の質を評価する評価方法。主観的であるものの数値では表せないプロセスや原因、関係性などを踏まえた評価が行える。

④「先進的・新しい取組」に関する評価

市が初めて行う新たな取組や他自治体にはない先進的な取組については、計画の実効性を高めるものとして個別に評価を行います。

■方向性2 指標の見直し（課題4の解決策）

今後の指標の在り方について、以下の案で検討します。

指標項目や目標値の見直しを行い、今後5年間継続して固定の指標を評価する

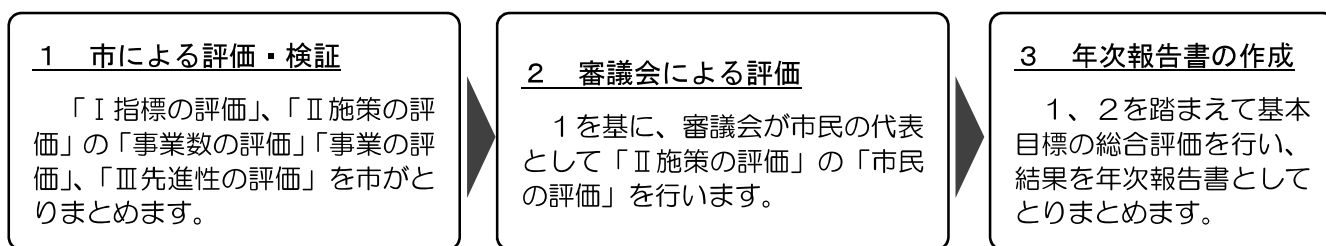
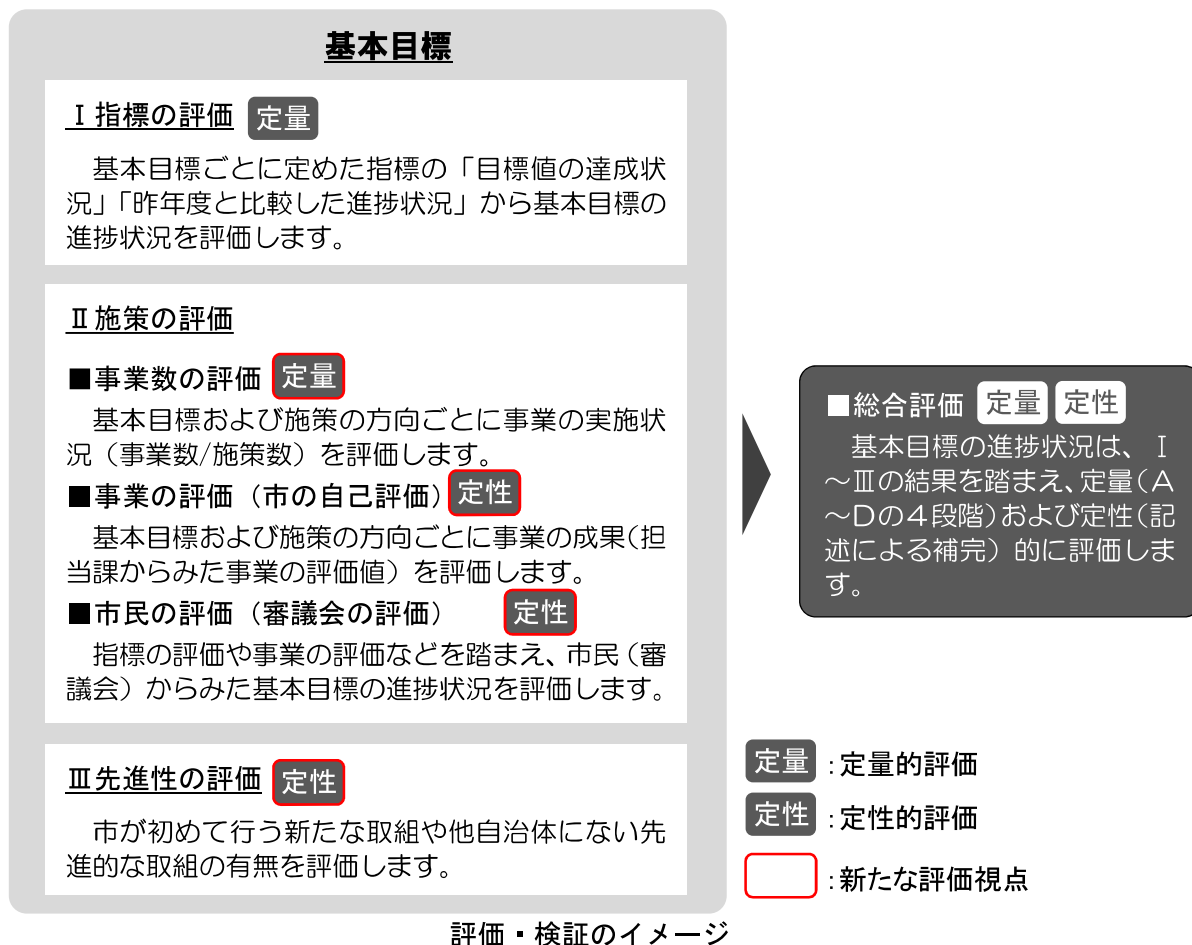
基本目標との関連性が低いものや、指標の値が市の実情とかけ離れている項目について、新たな指標への変更や目標値の見直しを行います。

見直しをした指標については、目標達成に向かって順調に進んでいるかを点検するため、基本的に計画改定（約5年後）まで変更せず、達成状況を評価・検証します。

3. 評価・検証の方法

(1) 評価・検証の流れ

計画の評価・検証の概要および流れは以下とおりです。



参考 事業の詳細

赤字：審議会が検討
青字：担当課が検討

とりまとめイメージ (2/2)

施策の方向	施策	事業	課名	実績	評価		
					②-2事業課の評価		②-1事業数の評価
					担当者 評価値	平均	事業数 (事業数/施策数)
生きものの 生息環境 を知り・守 る	1	地域の生きものの種類や数を調べ、知らせる	環境課	〇〇〇〇…	4	4	1
	2	いろいろな主体による観察会や講座を実施する	1	芦屋川カレッジや公民館講座における環境に関する講義・講座の実施	〇〇〇〇…	4	5
			2	芦屋川のホタル観察会の実施	〇〇〇〇…	4	
			3	星空観察会の実施	〇〇〇〇…	4	
			4	アシヤレンジャーに協力し、芦屋川・宮川での生き物観察会の実施	〇〇〇〇…	4	
5	環境づくり推進会議を主体として観察会等の実施	〇〇〇〇…	3	3.8	2.5 (10/4)		
3	外来生物の流入・増殖・在来種の乱獲を防ぐ	1	H25に沖ノ池の改修工事に伴う外来魚の駆除を実施	〇〇〇〇…	3	3.5	2
		2	外来魚の流入や在来種の保護について、市民の理解と協力を促すよう啓発を実施	〇〇〇〇…	4	3.75	
		1	財産区における松くい虫の防除	〇〇〇〇…	4	2	
		2	市内樹木の松くい虫の防除に係る補助事業	〇〇〇〇…	4		
自然とふれあえる場 を守り、さら に充実させ る	山の緑の豊かさを維持するため、自然植生を守る	1	山の緑に親しめる場の維持管理、守るための啓発を行う	〇〇〇〇…	4	4	10
		2	水辺の魅力を守り、良好な環境を創出する	〇〇〇〇…	4	1	
		3	身近な緑や社寺林などのまとまった緑を守る	〇〇〇〇…	4		
		4	ピオトープの適正な維持管理・市民農園の運営管理を行う	〇〇〇〇…	3	1.5 (6/4)	
計					-	3.8	
自然とふれあえる場 を守り、さら に充実させ る	山の緑に親しめる場の維持管理、守るための啓発を行う	1	あしや山まつりの開催	〇〇〇〇…	4	4	1
		2	芦屋川及び宮川沿いの定期清掃	〇〇〇〇…	4	2	
		1	保護樹木の指定	〇〇〇〇…	3		
		2	ピオトープの適正な維持管理・市民農園の運営管理を行う	〇〇〇〇…	3	3.7	
計					-	3.7	6

■担当者評価値

4点：十分に目的を満した

3点：概ね目的を満した

2点：やや目的を満たせていない

1点：目的を満たせていない